

さぬき水田営農だより No.110号

第110号（発行日）令和6年12月26日（発行）香川県農業再生協議会水田部会（事務局）香川県農業協同組合中央会



香川県の米の生産拡大に向け、 令和7年産の主食用米の「生産の目標」を決定

香川県における水稻の生産振興方針と主食用米の「生産の目標」

全国の米穀情勢においては需給バランスが緩和されている中、本県では令和6年産主食用米の作付面積は9,770haとなり、生産量が消費量を下回る見込みです。そこで、香川県農業再生協議会では、非主食用米も含めた多様な需要に応じられるように今後の生産振興方針を改正するとともに、令和7年産の主食用米の「生産の目標」を決定しました。

生産者の皆さまには、この「生産の目標」の達成に向けて、「5年水張りルール」の対応として水稻を作付け、安定的な作付の維持と拡大、適切な栽培管理により生産量と品質の確保をお願いします。

香川県水稻の生産振興方針

需要に応じた主食用米の作付面積と生産量の確保、一層の売れる米づくりの推進、国内外の需要に的確に対応した安定的な生産・供給、さらに水田の有効活用を図るため、以下の3点に重点的に取り組みます。

- 二毛作を基本とした水稻の作付面積と生産量の確保
- 「おいでまい」や「ヒノヒカリ」などの主食用米の戦略的な生産
- 主食用米・非主食用米ともに需要に応じた安定的な生産

主要品種の生産の方向性

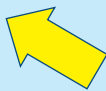
品種名	流通・販売状況と生産の方向性（JA香川県取扱より）
おいでまい 	・ 約8割が県内向けに流通し、家庭用精米や学校給食用として使用されています。 ・ ブランド化の取組みとして、良食味「特A」評価を再度獲得できるよう、品質の高位安定・向上に努め、香川県を代表するオリジナル米として、需要動向をみながら作付面積・生産量を増加させていきます。
コシヒカリ 	・ 約9割が県内向けの家庭用精米の定番として流通しています。 ・ 県内を主体に需要はありますが、温暖化による品質の低下が著しいため、麦との二毛作を踏まえて水稻の中生品種や業務用途向けの主食用多収品種へ転換を図っていきます。
ヒノヒカリ 	・ 約7割が関西圏など県外向けに流通しています。食味が安定しており、年間を通じて主に業務用途での需要が多くなっています。 ・ 複数年契約の取組みを進めて販路を確保し、需要に応じた生産を進める必要があることから、作付面積・生産量を維持・増加させていきます。
あきさかり 	・ 主に県外業務用途向けとして導入しており、新型コロナウイルス感染症の影響により減退していた需要が回復してきたため、販路の拡大が進み、県内外で流通しています。（県内46%、県外54%） ・ 複数年契約を含めた業務用途への販路拡大の取組みを強化し、需要動向を見ながら作付面積・生産量を維持・増加させていきます。

J A香川県の地域ごとの生産の方向性

地 域	主要品種・作付順 (下線はR6年産作付最多)	生産の方向性	
		作付面積	品種構成比率
大 川	<u>コシヒカリ</u> あきさかり ヒノヒカリ	コシヒカリ：維持 あきさかり：増 ヒノヒカリ：維持	「コシヒカリ」に作付が偏っている(R6年産約72%)ため、主に「あきさかり」への品種転換を進め、将来的には「コシヒカリ」の構成比率を60%程度に抑制する。
中 央	<u>ヒノヒカリ</u> コシヒカリ あきさかり	ヒノヒカリ：増 コシヒカリ：維持 あきさかり：増 おいでまい：維持	「コシヒカリ」の短期栽培の構成比率を減少させ、「あきさかり」(約14%)、「ヒノヒカリ」(約47%)への転換を行うとともに、「おいでまい」(約6%)は現状を維持する。
小 豆	<u>コシヒカリ</u> ヒノヒカリ	コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：維持 あきさかり：維持	「コシヒカリ」(約57%)、「ヒノヒカリ」(約11%)、「あきさかり」(約5%)の構成で面積維持に努める。
綾 坂	<u>コシヒカリ</u> ヒノヒカリ おいでまい あきさかり	コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：増 おいでまい：増 あきさかり：増	主要4品種の構成比率(「コシヒカリ」(約29%)、「ヒノヒカリ」(約22%)、「おいでまい」(約22%)、「あきさかり」(約20%)は維持する。
仲多度	<u>おいでまい</u> コシヒカリ ヒノヒカリ	おいでまい：増 コシヒカリ：維持 ヒノヒカリ：維持 あきさかり：増	「おいでまい」(約32%)は増、「ヒノヒカリ」及び短期栽培の「コシヒカリ」から「あきさかり」(約16%)への転換を行い、作期分散と作付面積の維持・増産に努める。 「コシヒカリ」(約28%)・「あきさかり」・「おいでまい」を中心として生産に取り組む。
三 豊	<u>ヒノヒカリ</u> コシヒカリ オオセト	ヒノヒカリ：増 コシヒカリ：維持 オオセト：維持 あきさかり：増	「コシヒカリ」の構成比率を抑制し、「あきさかり」(約4%)、「ヒノヒカリ」(約48%)への転換を行うとともに、「オオセト」(約5%)の構成比率は維持する。
豊 南	<u>コシヒカリ</u> あきさかり ヒノヒカリ	コシヒカリ：維持 あきさかり：維持 ヒノヒカリ：維持	「あきさかり」(約37%)、「コシヒカリ」(約41%)、「ヒノヒカリ」(約16%)の構成比率は維持する。

令和7年産の主食用米の「生産の目標」

※()の数値は生産の目標

	生産の目標			【参考】令和6年産(実績)		【参考】令和5年産(実績)	
	面積 (ヘクタール)	生産量(見込) (トン)	向き	面積 (ヘクタール)	生産量 (トン)	面積 (ヘクタール)	生産量 (トン)
香川県	10,100	50,096		(10,100)	(50,096)	(10,800)	(53,568)
				9,770	48,000	10,100	50,200

注1)「生産の目標」の生産量(見込)(トン)は、県の平均収量496kg/10aにより算定

注2) 農林水産省統計公表値

<参考> 令和7年産の非主食用米の「生産の目標」

	水稻の種類	令和7年産(目標値)		令和6年産(10月現在)
		面積(ヘクタール)	向き	面積(ヘクタール)
香川県	加工用米	53	←	53
	米粉用米	8	←	8
	飼料用米	190	←	190
	WCS用稲	350	←	343
	新市場開拓用米	34	←	34
	合 計	635	←	628

地域計画・目標地図の策定は

スタートライン

自分の農地の未来を考えませんか？

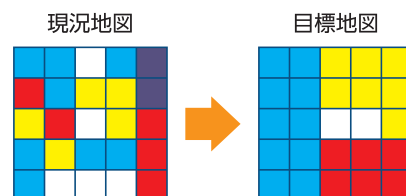
▶ 昨年度・今年度で開催された座談会などで皆様で話し合っていた内容は、各地区における地域計画・目標地図として今年度末までに策定・公表されます。

▶ 地域計画は、策定して終わりではなく、**話し合いを継続して行い**、毎年見直しを重ねていく中で、目指すべき将来の地域の姿に近づけていくことが大切です。

▶ 農地の集積・集約化や、新規就農者・入作者の確保のほか、高収益作物への転換や耕畜連携、さらには農地保全等区域の設定など、地域の現状や課題を踏まえ、より良い計画になるよう話し合いましょう。

▶ **地域の話合いは1度で完結させる必要はありません。無理なく続けていくことを目指しましょう。**

話し合いによる農地の集積・集約化



地域計画に関するお問い合わせ先

お住いの各市町の農業主務課、農業委員会、県農業改良普及センター
もしくは 香川県農業経営課農地マネジメント推進室 TEL:087-832-3408

多様な農業人材経営計画の認定を受けませんか？

県では、経営発展に意欲的な兼業農家や定年帰農者などを支援することを目的に、地域計画に農業を担う者として位置付けられた農業者が、創意工夫により経営発展を目指す経営計画を認定する「**多様な農業人材経営計画認定制度**」を今年度新たに創設し、第1回の認定(9月1日)では46名の農業者を初めて認定しました。

現在、今年度第2回目の認定の申請を受け付けています。

●申請者の要件(①～④を全て満たすこと)

- ① 地域計画に「農業を担う者」として位置づけられていること又は位置付けられることが確実と見込まれる者(認定農業者、認定新規就農者、基本構想水準到達者、集落営農組織を除く。)
- ② 営農を5年以上継続する意欲があること。
- ③ 農産物販売金額50万円以上を目指すこと。
- ④ 地域農業の維持・発展に寄与し、積極的な営農展開を目指すこと。

●申請方法

- 受付期限 令和7年1月31日まで(3月1日認定)
※次回受付は令和7年4～7月(9月1日認定)
- 申請方法 多様な農業人材経営計画認定申請書を作成し、管轄の農業改良普及センターへご提出ください。

問合せ先 香川県農業経営課担い手支援グループ TEL:087-832-3406

多様な農業人材(イメージ)



上記の者など地域農業に貢献する意欲ある農業者

制度の詳細、様式等はHPからご確認、ダウンロードしてください。



●認定を受けた方への支援

営農計画の達成に必要な農業機械・施設の導入、営農継続に役立つ農業講座や栽培・経営相談などの支援を行います。

これから始める水稲栽培 vol.18



新年、あけましておめでとうございます。
私自身、還暦を迎え、節目の年、継続は「力」なり!でガンバります。
つとむさん(60歳)

令和7年産の米づくりがいよいよ始まります。まずは、今年使用する肥料・農薬等の予約注文が、最初の仕事ではないでしょうか? 昨年の反省や在庫状況に加えて、最近は価格も重要な選択の要素です。資材高騰の折、「費用対効果」「取捨選択」でコスト低減を!!

18回目は、「水稲栽培のしおり」です。

JA 香川県さんが毎年発行する地域や品種ごとの「水稲栽培のしおり」。初心者の方にとってはバイブルです。そこで、今回は初心者の農家目線で解説します。

※「水稲栽培のしおり」は、ホームページにアップされていますので、農作業中の困った時にスマホで検索できますよ。

JA香川県 水稲栽培のしおり



※お詫び_ 今号は文字ばかりとなつてすみません。

水稲栽培のしおりの主な「あるある」と対応策の実際

① 限られたスペースに詰め込みすぎて、見にくい!

詰め込み感は拭えませんが、しおりは、原則、「栽培管理」「病虫害防除・施肥・雑草防除の基準」に病虫害や雑草の写真等で構成されています。

※名前がわかるだけでも勉強になります。

② 農業の専門用語が多くて、わからない!

専門用語は多いですが、その種類はさほど多くありません。一番簡単に理解するコツは、ネット検索です。

※作業のコツは、YouTubeなどの動画サイトも参考になりますよ!

③ 肥料・農薬・除草剤の資材が多すぎて、どれを使ったらいいの?

1)肥料は、原則、品種や追肥が必要なタイプなどの種類で分かれています。自身の栽培や労力の状況に応じて選択してください。

2)農薬は、原則、まず、必須防除と確認防除があり、次にそれぞれの防除時期等で液剤・粉剤・粒剤等に分かれています。必須防除に重点を置いて、自身の過去の発生状況や労力等を勘案して選択してください。

3)除草剤は、原則、初期・中期の防除時期で分かれており、まずは初期除草剤の中の一剤を選択し、ヒエなどが残れば中期除草剤を散布します。

【選択にあたって、私は、10a当たりの資材価格を最も重視しています(笑)。】
注)農薬ラベルに記載の使用量・時期・方法・回数は必ず守ってください。

※選択にあたって、JAさんの指導員等の方に聞くこともありですが、私の一番のおススメは、近所の農家の方の実際の状況等をお聞きすることです。そのココロは、地域の栽培環境をよく理解されているからで、省力化やコスト削減の話も聞けるかも…。

注目!

令和7年産「これから始める水稲栽培基礎講座」を開催します!!

約1年ぶりに農業試験場で開催する「水稲栽培初心者向けの基礎講座」の参加者を募集します。是非、ご家族、お友人連れでご参加ください。お待ちしております。

【日 時】 令和7年2月2日(日) 1)午前部 10時~12時
2)午後部 13時30分~15時30分
※どちらか選択

【場 所】 香川県農業試験場 1F会議室(綾川町北1534-1)

【内 容】 水稲栽培の準備と作業のポイントなど

【参加申込・問い合わせ先】

令和7年1月24日(金)までに香川県農業試験場総務課 087-814-7311に

①氏名 ②住所・電話番号 ③ご希望の時間帯(午前または午後)をお伝えいただき、お申し込みください。



内容に関するお問い合わせ先

香川県農業協同組合中央会 総合対策部 総合対策課 TEL: 087-825-2503

香川県農業協同組合 営農部 農産指導課 TEL: 087-818-4104

香川県 農政水産部 農業生産流通課 TEL: 087-832-3418

香川県農業再生協議会ホームページ <https://www.saiseikyo-kagawa.jp>